

議会広報常任委員会視察報告書

視察…令和5年11月16日（木）
鳥取県 大山町

令和5年11月17日（金）
岡山県 美咲町

目的：議会広報の編集に当たっての基本的方針及び編集体制について
YouTube を活用した議会広報について

議会広報常任委員会委員長 杉野 公彦

議会広報常任委員会視察

令和5年11月16日（木）視察・・・鳥取県 大山町

令和5年11月17日（金）視察・・・岡山県 美咲町

目 的：議会広報の編集に当たっての基本的方針及び編集体制について
YouTube を活用した議会広報について

参加者：議長、議会広報常任委員7名、議会事務局職員

1. 研修内容の報告

(1) 鳥取県大山町

○議会広報の編集にあたっての基本的方針及び編集体制について

大山町は、鳥取県西部に位置し、米子市に隣接する。人口は令和5年11月1日現在15,063人と当町の約3分の1程度だが、面積は189.83㎢で当町の13倍もあり、町の南側にある大山から日本海に沿いに緩傾斜をなし、丘陵や山岳が多い町である。

議会広報については、過去何度もコンクールに入選しており、議会広報常任委員会については、議員16名のうち2常任委員会から4名ずつ選出し、計8名で編集作業等を行っている。

編集手法で特に特筆すべきは、定例会2週間前に特集テーマや委員の役割決めを行っており、特に役割決めにおいては委員をデスクと記者に分け、明確な役割分担をされている点である。

また、編集作業においてもペーパーレス会議システムや、クラウドサーバー、メッセージングアプリを使い、時間や場所に捉われずに進めることが可能となっている。さらに印刷業者との打ち合わせもWEB会議システムを用いた作業となっていた。

定例会前2週間からの準備やITを駆使した編集により時間的な余裕が生まれ、より充実した特集記事、住民に対する丁寧な取材及び記事作成につながっているように感じられた。

(2) 岡山県美咲町

○YouTube を活用した議会広報について

美咲町は岡山県中央部に位置し岡山市、津山市に隣接する。人口は令和5年11月1日現在12,920人と当町の約3分の1程度だが、面積は232.17㎢で当町の16倍以上もあり、町域の大半は丘陵地帯と山林が占めている。

議会広報は、大山町同様に広報コンクールに何度も入選しているが、委員会は特別委員会で、14名の議員のうち意欲がある者6名を任期初めに選任しているということであった。

美咲町議会の広報として特に目につくのは、議会ホームページを開くと真っ先に目に飛び込んでくるYouTubeの画面である。そして動画の編集がとても見やす

くできているのであるが、美咲町は町営のケーブルテレビ局を持っており、その動画をそのまま YouTube に利用しているとのことであった。

美咲町議会は、メディアミックス構想を掲げ、議会だより、ホームページ、ケーブルテレビ、YouTube、Instagram と持てる媒体を駆使し、いかに費用をかけずに情報の発信を行うかに力点を置いているようである。

また、住民参加にもとても力を入れており、議会アンバサダーや 10 名以上の町民の参加で実施される出前議会など、広聴活動にも積極的に取り組まれていた。

2. 粕屋町の状況

当町においては、広報編集に関して、原稿の作成について議員全員で細かく役割分担し、編集については全員で取り組んでいる。また 12 月議会号からタブレットを用いた編集作業が始まるため、IT を活用した編集はこれからである。

YouTube については、4 月から概ね 2 週間に一度のペースで配信出来ているが、まだスタートして 9 カ月であり、視聴者もそれほど増やせていない状況である。

広聴活動については、これまで議会報告会として年 2 回程度開催していたが、コロナ禍でホール等に一堂に会しての開催ができず、特定の団体との意見交換に終了しているのが現状である。

3. 課題と対策、町への活用等

(1) 広報編集について

- ・今回の視察先と比べ編集回数が多く、IT の活用によりもっと効率よい編集作業を確立することが必要。
- ・IT の活用は、タブレット導入によりこれからスタートするが、ペーパーレス会議システムや、連絡ツール、クラウドサーバーの活用などを積極的に進める必要がある。
- ・特集記事等の作成には、もっと早い準備と取材活動が必要なため、編集スケジュールの再検討が必要と思われる。

(2) YouTube を活用した広報について

- ・編集作業が一人しかできないため、今後編集できる人材を育成するのか、外注に出すのか、もしくは短編の動画作成など編集を必要としない動画を作成
- ・現在は委員会中継が行えていないため、この部分で YouTube の活用を考える必要がある。
- ・当町はケーブルテレビを持っていないので、コンテンツの制作には限界がある。町民からのコンテンツ提供なども検討してもよいのではないか。
- ・YouTube とホームページ、その他 SNS との一体とした運用を検討し、少ない費用で大きな効果を上げられる仕組みづくりを構築すべきである。

(3) その他広聴活動について

- ・今回の視察目的とは外れるが、美咲町において行われている出前議会と議会アンバサダーについては、現在実施中の議会基本条例改正に伴う広聴活動の見直しに合わせ、導入の検討をしてどうかと考える。